益田市の社協だより



全和2年度 健康づくり活動表彰 島根県知事賞「白上いきいきサロン松光会」



令和元年度 健康づくりグループ表彰 島根県知事賞「久々茂ふれあい・いきいき友の会」

丸山知事のサロン訪問の様子については3ページの記事もご覧ください。

益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177 美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387



福 祉 画 と協力を のまちづくりに

益田市長 山 本 浩 章

新年明けましておめでとうございます。 市民の皆様には、令和四年の新春を健やかにお迎えのことと、心より

お慶び申し上げます。

いが制限され、福祉活動にも影響がある中、 祉活動を展開されていることに、心より敬意と感謝を申し上げます。 ボランティア活動、福祉教育、高齢者・子育てサロン活動など、 として、 相談や貸付事業に対応されたことには重ねて敬意を表します。 益田市社会福祉協議会におかれましては、 多くの団体の参加と協働のもとに、 新型コロナウイルス感染症のため、 生活に影響が生じた方への 地区社会福祉協議会活動 人と人との直接的な触れ合 福祉活動における中核組 地域福 織

となってきます。市と社会福祉協議会と協働で推進している第三期益田 策定に向けて新たな地域福祉の姿を共に模索しているところです。 市地域福祉計画・地域福祉活動計画は今年中に最終年度を迎え次期計画 昨年は「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する が施行され、包括的な支援体制の整備や住民参加がますます重要 連携し福祉のまちづくりを実現して参りたいと考えています。

ますの 地域福祉の充実には、市民の皆様の積極的な参画と協力が欠かせませ 市は今年も、福祉関係機関と連携を図り、 皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。 福祉施策を展開して参り

心よりご祈念を申し上げ、 令和四年が、 市民の皆様にとって、幸多き年となりますよう 年頭のごあいさつと致します。



身近な地域

公会会長 明

新年あけましておめでとうございます。

けあい募金にも厳しい中にもかかわらず多くのご協力をいただきました 禍の影響で経済的困窮が広がり、とりわけ若年層のひとり親世帯などで 市民の皆様の心のぬくもりをひしひしと感じています。 市民の皆様から食料が寄せられています。 日々の食事に困った方々を支援する「フードバンク事業」に対し多くの は子供の貧困が深刻です。独り暮らしの高齢者の孤立も目立っています 新型コロナウイルスの感染拡大から足掛け三年目となります。 赤い羽根共同募金、 歳末たす コロナ

ます。 アフリーがよりいっそう進み、 活躍に感動と勇気をいただきました。これを機に、 ラリンピックは今までになく放送枠が拡大され、 昨年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。 共生社会の実現に繋がることを念じてい 障害アスリートたちの 物理的かつ心のバリ 特にパ

襲った58災害の悪夢はいまだに忘れられません。 支え合い助け合う「身近な地域の福祉」をよりいっそう進めていきたい 乳幼児、年々増加する認知症の方などは災害時に真っ先に命を脅かされ ランティアセンターの訓練等に努めます。 気候変動は、 共によし」です。本年もよろしくお願いいたします。 ものです。社協のスローガンは「助けてよし、 る「災害弱者」でもあります。普段からの声掛けや見守りなどを通じて 世界的な大きな課題は地球温暖化です。増え続ける二酸化炭素による 大規模な自然災害を誘発しています。 寝たきりの高齢者や障がい者 助けられてよし、そして 万一に備えた災害ボ 38年前に益田市を



第39回 益田市社会福祉大会

令和3年11月15日(月) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典と表彰のみの開催となりました。

益田市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状受賞者

受賞者の皆様福祉の向上にご尽力いただき、ありがとうございます。

(敬称略・順不同)

【表彰】

< 民生委員·児童委員功労者 >

杉内 伸代(高津三丁目) 椋 逸治(安富町)

綾部 常美 (戸田町) 齋藤 友法 (匹見町匹見)

< 社会福祉施設・地区社会福祉協議会・団体等の役員功労者 >

原 出夫(中垣内町)

< 社会福祉事業における永年勤続功労者 >

野村 みどり (金山町) - 吉部 杏子 (遠田町) 佐々木 美恵 (金山町)

佐々木 涼子 (西平原町) 松尾 伸 (高津四丁目) 俵 麗 (久城町)

水津 史絵(向横田町) 吉村 明子(東町) 高浦 由紀子(高津四丁目)

山﨑 勇 (東町) 大田 美津子 (久城町) 折山 節江 (美都町丸茂)

土佐 都子(美都町山本) 齋藤 陽子(美都町仙道) 坂﨑 由紀絵(梅月町)

海老谷 美陽子(中須町) 廣兼 理子(美都町都茂) 前田 りか(匹見町匹見)

齋藤 英子 (匹見町紙祖) 村上 真知子 (匹見町紙祖) 寺戸 章枝 (匹見町紙祖)

彌重 久美子(美都町丸茂) 齋藤 眞澄(匹見町匹見)

【感謝状】

< 社会福祉活動に積極的に協力し、その功績が顕著な個人及び団体 >

大浜いきいきサロン(木部町) サロンあすなろ(戸田町)

おたのしみサロン (美都町仙道) 元気で過ごそう ごう!ごう!俱楽部 (匹見町澄川)

長嶺 良保(神田町) 和田 進(神田町)

吉岡 恵美子(遠田町)

健康の秘訣はみんなの笑顔!

(中部圏域生活支援コーディネーター:中井)

11月5日(金)、健康づくり活動表彰 島根県知事賞を受賞した二つの高齢者サロンを丸山知事が視察されました。

「白上いきいきサロン松光会」(令和2年度受賞)ではサロンを喫茶形式で行い、テーブル7台にサロンの方々が座り、知事が各テーブルを回って喫茶を楽しみながら談笑しておられました。

「久々茂ふれあい・いきいき友の会」(令和元年度受賞)では「きよしのズンドコ節」のリズムで健康体操をし、サロンの懇談会や知事との意見交換会が行われました。

二つのサロンに集まった高齢者の方々からは、常に笑みがこぼれ、サロンに集まることで、生きがいや張り合いにつながる大切さの話があり、丸山知事は「こういった活動が広がる取り組みを広げていきたい」と仰いました。



令和3年度 生活困窮者自立相談支援事業講演会



私が見た風景

きこもり体験を通じて

参加無料

定員50名



ひきこもり当事者/経験者発信メディア「ひきポス」

ひきポス編集長 石 崎 森 人 氏

石崎森人さんの体験や思いをとおして、ひきこもりへの理解を深め、課題の解決に向け、私たち 一人ひとりが果たすべき役割を学び、具体的な取り組みについて考えてみませんか?

作日時

令和 4 年 **1**月**29**日(土) **13:30~15:30**

益田市総合福祉センター大集会室 ※当日は手話通訳・要約筆記が あります (益田市須子町3-1)



『ひきポス』は、ひきこもり当事者、経験者の声を発信する情報発信メディア。生きづらさ 問題を当事者目線で取り上げます。当事者、経験者、ご家族、支援者の方々へ、生きるヒント になる記事をお届けしています。

~ひきポスHPより引用~

- ※申込は専用の申込用紙もしくは電話(22-7256)にて受付します。詳細は市内各公民館や福祉施設に 配布のチラシもしくは社協HPをご覧ください。
- ※当日は新型コロナウイルス感染防止対策を施し開催しますので、皆様のご協力をお願いいたします。

まれし ト生活支援センロー ふれあい福祉相談のご案内 1.2 月

相談	開催日	時間
無料法律相談	1月14日(金)・2月は祝日のためありません	13:00~15:00
ふれあい福祉相談	1月14日(金)・2月は祝日のためありません	10:00~15:00
老人ひとり親相談	1月14日・28日(金)/2月25日(金)	10:00~15:00

どんなことでも、まずはご相談ください。 いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。



あんしん生活支援センター(益田市社会福祉協議会)

フリーダイヤル:0120-062-301 / TEL:22-7256 / FAX:23-4177 (月~金 8:30~17:30)

善意の輪(令和3年9月1日~令和3年10月31日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動 事業費や、福祉基金積立の原資として、大切 に活用させていただきます。

義夫

(故) 上田 榮市

(故) 齋藤

	【看	野典返し】	
神﨑	真宏	久城町	金一封
菅川	房江	高津町	金一封
安田	政行	桂平町	金一封
矢冨夷	 手美代	遠田町	金一封
吉岡サ	ナツ子	須子町	金一封
中村	克也	小浜町	金一封
豊田	福人	白上町	金一封
豊田	涼子	黒周町	金一封
	管川 安田 矢冨寿 吉岡十 中村	神崎真宏菅川房江安田政行矢冨寿美代吉岡サツ子中村克也豊田福人	菅川 房江 高津町 安田 政行 桂平町 矢冨寿美代 遠田町 吉岡サッ子 須子町 中村 克也 小浜町 豊田 福人 白上町

(故)	松田久	タマエ	横田町	金一封
	石田	卓也	大谷町	金一封
(故)	中村	幸子	本俣賀町	金一封
	渡邉	修	下種町	金一封
(故)	岡崎	武子	黒周町	金一封
	大庭	義人	下波田町	金一封
(故)	大谷し	_のぶ	喜阿弥町	金一封
	柳田	継男	喜阿弥町	金一封
(故)	大江	徹朗	匹見町澄川	金一封

【一般寄付福祉事業へ】					
	匿名			金一封	
	匿名		久城町	金一封	
	匿名		美都町仙道	布団一式	
	田邊	俊信	美都町小原	金一封	
(故)	前田	ウメ	匹見町広瀬	金一封	

匹見町澄川 金一封 匹見町匹見 50,000円



4月の福祉バス利用抽選会は1月11日(火)10時~です。

安田・鎌手 種・北仙道

手作りハロウィン で トリック ォァ トリート!

(東部圏域生活支援コーディネーター:河上)



10月23日(土)、安田公民館で安田・鎌手・種・北仙道4公民館の合同イベント『安田小&鎌手小仲良くなろう企画 HAPPY Halloween!』が開催されました。

公民館主事さんたちがあらかじめ用意していたバッグやマント、帽子やマスクに、シールやリボンで 思い思いの装飾を施した衣装に身を包んだ子どもたちが安田の町を元気に行進していました。

この4館合同事業は毎年開催されており、東陽中学校区の4つの公民館が、その地域の良さを活かし、 子どもたちに様々な体験活動をしてもらうことを目的として、主事さんたちが力を合わせて様々な企画 で地域を盛り上げています。

ハロウィンの仮装をした子どもたちが可愛らしかったのはもちろんですが、常日頃から地域のために一生懸命に頑張ってくれている主事さんたちの姿をみて、感謝の気持ちでいっぱいになった一日でもありました。

真砂

ふれあいバスでほほえみ時間

(中部圏域生活支援コーディネーター:中井)

10月19日(火)、真砂地区のふれあいバスに同行させていただきました。

このふれあいバスは、暁ほほえみ福祉会の車を利用して、月に6回程度運行をしています。 対象は日常的な買い物が思うようにできない高齢者の方たちで、市内大型ショッピングセンターで 買い物を楽しんだ後は、真砂保育園で園児と一緒に給食を食べ、食べ終わるとそれぞれのお宅まで送 迎する形で行われています。

今回の移動先は利用者さんリクエストのキヌヤ本店。 到着後、皆さん行きたい場所に行き、用事を済ませたり買い物を楽しんでいました。 買い物が終わったら、迎えのバスが来るまで、キヌヤのベンチに集まりおしゃべりタイム。

地域の人たちによる交通支援の工夫が、高齢者の方々の笑顔につながっていると実感できました。







美 都 益田市老人クラブ連合会美都支部『ふれあい交流会』開催



10月14日(木)、「ふれあいホールみと」にて益田市老人クラブ連合会美都支部のふれあい交流会があり、出雲市民病院 麻酔科部長 鈴木正典先生を講師にお招きし、「想い出かたりは元気のもと」と題して講演会を開催しました。

想い出話は、『すればするほど元気になる』『昔の事を語るのは決して後ろ向きなことではない』という回想法のもと、昭和初期の写真を見ながら、「あの頃は鼻を垂らした子供が多かったよね」、「ティッシュなんかないから、袖口がぴかぴかだった」とか、「しもやけで指がかゆかった」、「女の子はだいたいおかっぱだったよね」など、子供の頃に戻って、懐かしく語り合いました。また、先生が持ってこられた様々な楽器を参加者48名全員で合奏したりと、普段とは一味違った講演会で昔を懐かしみながら、楽しい時間を過ごしました。

(美都支所: 若槻)

<寄稿文> ひとがつながる まち、高津

益田高校3年生 鹿野 真央



令和3年9月18日、高津柿本神社を舞台に『ひとまろつながりマルシェ』を行いました。

当日は多くの方々にお越しいただき、とても嬉しかったです。

今年の3月に第1弾として和傘ライトアップを行いましたが、来てくださった方に喜んで頂けたので、第2弾として今回開催させていただきました。コロナ禍でなかなかイベントもできないなかでの開催で不安な面もありましたが、このイベントが少しでも高津に住む方々に楽しいと思っていただき、希望を与えることができたのであれば嬉しいです。当日の様子はSNSを利用して、県内外の方にも高津を知ってもらえた良い機会になったと思います。

今回の、『ひとまろつながりマルシェ』(主催:チーム和傘プロジェクト)は、2023年柿本人麿没後1300年祭に向けてのプレイベントの一環として行いました。今後も継続して益田のシンボル的存在である高津柿本神社や門前町をこの節目の年に向け、様々な人たちと繋がり連携しながら活性化していきたいと思います。

挑戦したいときに挑戦できるのは高津の方々が温かく、快く力を貸してくださるからだと改めて感じました。このまちに育ててもらった一員として、高津の未来を明るくできるような活動を今後も企画していきたいと思います。





